

記入例

様式第2号（第5条）

利用申込書と同じ方を記入してください。

年 月 日

(宛先) 小金井市長

申込者 住所 小金井市〇町□-×-△
氏名 小金井 花子
電話 〇〇〇-□□□-〇〇〇〇

高齢者救急通報システム利用確認書

高齢者救急通報システムを利用するに当たり

記

利用者からシステムを通じた通報が警備会社にあった場合、警備会社が電話する連絡先です。

- 1 希望する救急通報協力員又は居住管理者を
- 2 緊急事態発生の場合は、次の親族

氏名	住所	電話	備考
原則的には、下の6に記載される住居の管理者に鍵を預けていただくこととなりますので、こちらに〇をお願いします。		〇〇△-□□□□ □□-〇〇△△	

- 3 (1) 救急通報協力員又は居住管理者に預ける。
- (2) その他 (

- 4 救急通報を發し、東京消防庁等からの確
- 5 緊急時に救急通報協力員等関係機関が住
- 6 救急搬送された場合等の住居の管理者は

利用者が救急搬送されたあと、利用者宅のことについて連絡する必要がある場合、警備会社が電話する連絡先です。

氏名 (法人名)	住所 (所在地)	電話	備考
小金井 小花子	小金井市〇町△-△-△	自宅 〇□□-〇×△-□〇△△ 携帯 □△×-□〇△-〇△□×	

- 7 貸与を受けた高齢者救急通報システム機器を善良な管理の下に使用し、これを転貸し、譲渡する等他の目的には使用しません。
- 8 私の責任に帰すべき理由により、高齢者救急通報システム機器の一部又は全部を壊したり、無くしたりしたときは、直ちに市に申し出た上、実費を賠償します。
- 9 高齢者救急通報システムを必要としなくなつたときは、速やかに市に返還します。